



平成 28 年 7 月 29 日

各位

会 社 名 日本特殊陶業株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 尾堂真一
(コード番号 5334 東証・名証第 1 部)
問合せ先 執行役員 広報部部長 磯部謙二
(TEL. 052-872-5896)

セラミック IC パッケージ事業の「構造改革」に係る吸収分割契約の締結について

当社は、平成 28 年 5 月 9 日付で、当社グループの主要製品の一つであるセラミック IC パッケージ事業(以下、PKG 事業)の構造改革の一環として、当社の PKG 事業を、「NTK セラミック株式会社(以下、新 N セラ)」に会社分割(以下、本会社分割)により承継させることを発表しました。

本日、本会社分割に係る吸収分割契約を締結しましたので、確定事項などについて、下記の通りお知らせします。

また、本会社分割は、当社グループ 100%子会社を対象とする吸収分割であるため、開示事項・内容を一部省略しています。

記

1. 「構造改革」の目的

当社セラミックICパッケージ事業(以下、PKG 事業)の再生を図るべく、責任と権限を明確にするとともに、より一層の収益管理の可視化を進めるため、従来の製造に特化した子会社から、製造・販売機能を一体化した独立事業会社を設立し、不退転の覚悟を持って早期の黒字化を目指します。

半導体用ICパッケージには、技術的観点で見た場合、セラミックでなければ達成できない要求特性が今後も存在し続けるため、当社の PKG 事業はコア技術を活かすことで、当該事業で存在感を示すことができると考えています。また、PKG 事業で培った技術は、主力製品の一つである車載用センサ事業(以下、センサ事業)や今後成長が期待される半導体製造装置事業・燃料電池(SOFC)事業といった半導体部品以外にも活かされており、その意味でも当該事業を続ける意義があると考えています。

一方で、業績面では、PKG 事業は平成 24 年 3 月期から 5 期連続赤字を計上しており、激化する価格競争の中で実力を発揮しきれていない部分があります。今回の構造改革により、責任と権限を明確にした自主自営の体制を構築し、徹底した収益管理を推し進めつつ、技術の強みをより活かした事業とするべく構造改革を断行します。

2. 「構造改革」の概要

(1) 子会社の新設

a. 半導体新会社

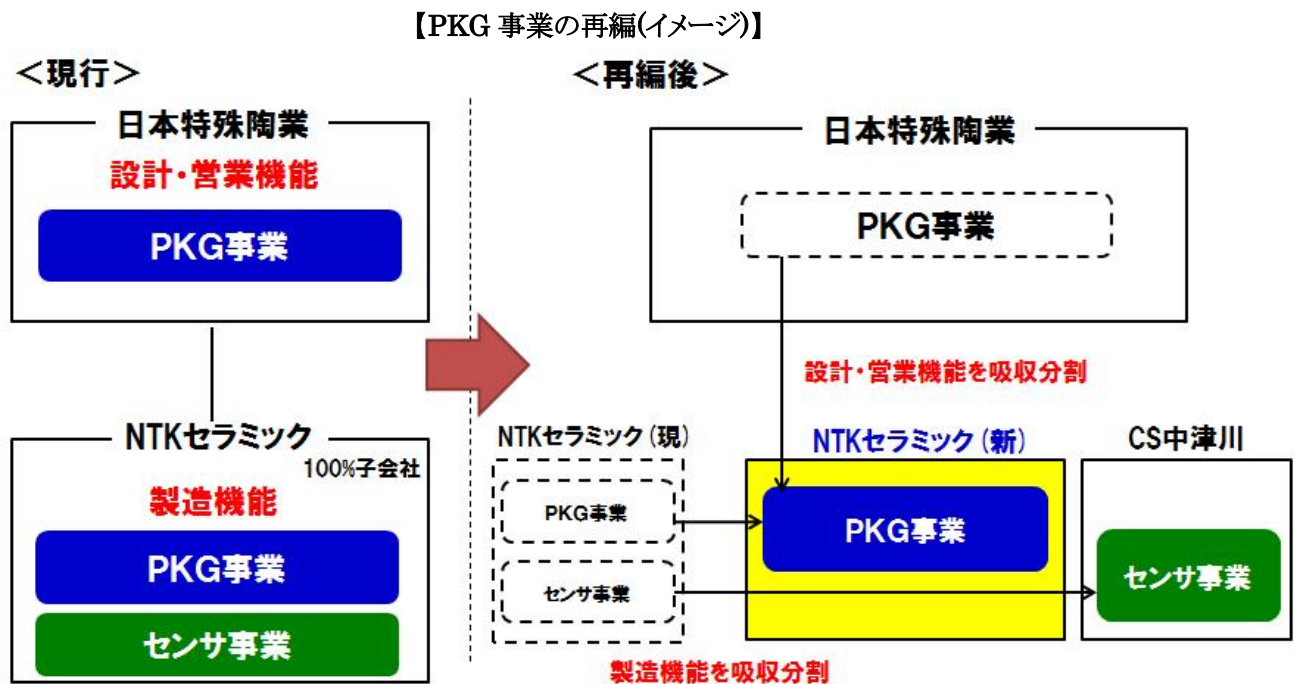
平成 28 年 7 月 1 日に、当社の 100%出資子会社として、「NTK セラミック株式会社(以下、新 N セラ)」を新たに設立しました。平成 28 年 10 月 1 日までに当社内における半導体事業部及び 100%出資子会社の「NTK セラミック株式会社(以下、現 N セラ)」の PKG 事業を新 N セラに吸収分割により承継させます。

b. センサ新会社

同様に、平成 28 年 7 月 1 日に、当社の 100%出資子会社として、「CS 中津川株式会社(以下、CS 中津川)」を新たに設立しました。平成 28 年 10 月 1 日までに現 N セラのセンサ事業を CS 中津川に吸収分割により承継させます。

c. 平成 29 年 1 月 1 日を目途に、現 N セラを当社に吸収合併する予定です。

(2) 子会社再編のスキーム



(3) 製品の選択と集中

製品別、客先別の収益性を見極め、より当社の技術的な強みを活かせる製品にリソースを集中します。

(4) 生産拠点の見直し

現在、国内 4 拠点で生産しているパッケージ関連製品を 3 拠点に集約することで、固定費の削減と生産性向上を図ります。中津川工場については、今後大きな需要が見込まれるセンサ事業の製造拠点として活用を進めます。

(5) 外部経営人材の招聘

従来、当社独自で事業構造改革を進めてまいりましたが、外部の知見を活用するとともに責任と権限を委譲することで、当該事業の再生を果たします。

3. 本会社分割の要旨

(1) 本会社分割の日程

平成 28 年 7 月 29 日	吸収分割契約書を締結
平成 28 年 10 月 1 日 (予定)	新 N セラへの吸収分割を実施 (効力発生日)

(注) 本会社分割は、当社においては会社法第 784 条第 2 項に規定する簡易吸収分割であり、新 N セラにおいては会社法第 796 条第 1 項に規定する略式吸収分割であるため、それぞれの株主総会の決議による承認を受けることなく本会社分割を行う予定です。

(2) 本会社分割の方式

当社を吸収分割会社とし、新 N セラを吸収分割承継会社とする吸収分割の方式をとります。

(3) 本会社分割に係る割当ての内容

本会社分割に際して、新 N セラは当社に対して株式を発行いたしません。

(4) 本会社分割にともなう新株予約権および新株予約権付社債に関する取り扱い

該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増減する資本金

本会社分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

資産、負債、契約上の地位およびこれらに付随する権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継します。なお、債務の承継は、併存的債務引受の方法によります。

(7) 債務履行の見込み

本会社分割の効力発生日以後に弁済期が到来する新 N セラの債務について、履行の見込みはあるものと判断しています。

(8) 本会社分割の当事会社の概要

名称	日本特殊陶業株式会社(分割会社)	NTK セラミック株式会社(承継会社)
本店所在地	愛知県名古屋市瑞穂区高辻町 14 番 18 号	愛知県小牧市大字岩崎 2808
設立年月日	昭和 11 年 10 月	平成 28 年 7 月
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 尾堂 真一	代表取締役会長 作田 久男
事業内容	自動車関連部品、電子部品用セラミック、各種工業用セラミックの製造・販売	電子部品用セラミック製品の設計・製造・販売
資本金	47,869 百万円	100 百万円
決算期	3 月	3 月
発行済株式数	223,544,820 株	10,000 株
大株主および持株比率	第一生命保険株式会社 7.49% 明治安田生命保険相互会社 6.17% 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) 5.75% STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 5.63% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 5.57%	日本特殊陶業株式会社 100%
財政状態及び経営成績	平成 28 年 3 月期(連結)	(注)
純資産	341,044 百万円	—
総資産	526,160 百万円	—
1 株当たり純資産	1,557.16 円	—
売上高	383,272 百万円	—
営業利益	66,279 百万円	—
経常利益	64,478 百万円	—
当期純利益	30,815 百万円	—
1 株当たり当期純利益	141.60 円	—

(注)承継会社は、平成 28 年 7 月に設立された会社のため、確定した最終事業年度の財政状態及び経営成績はありません。

4. 分割する事業の概要

(1) 分割する事業

セラミック IC パッケージ事業

(2) 分割する部門の経営成績

売上高:19,638 百万円(平成 28 年 3 月期)

(3) 分割する資産、負債の項目および金額(平成 28 年 3 月末現在)

資産		負債	
流動資産	13,827 百万円	流動負債	28 百万円
固定資産	858 百万円	固定負債	— 百万円
合計	14,685 百万円	合計	28 百万円

(注) 平成 28 年 3 月末の帳簿価額で試算しておりますので、実際に分割する金額は上記から変動する可能性があります。

5. 今後の見通し

PKG 事業の構造改革については平成 28 年 5 月 9 日発表の 2017 年 3 月期決算業績見通しに織り込み済みであり、現時点では大きな変化はありません。今後の環境変化によって、業績見通しに影響があることが判明した場合には、速やかに適時開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成 28 年 5 月 9 日公表分)及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
当期業績予想 (平成 29 年 3 月期)	369,800	42,500	45,300	30,500
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	383,272	66,279	64,478	30,815

以上